

令和2年度 第1回 「『まち』とともにあゆむ学校づくり懇話会」 (学校関係者評価委員会) 報告

○ 日 時 令和2年9月29日(火) 16時00分～16時45分

○ 会 場 横浜市立丸山台小学校 図書室

○ 参加者 大澤 美幸 (丸山台小学校 PTA 会長)
 渡辺 雪子 (丸山台中学校 PTA 会長)
 中山 義夫 (いずみプラザ上永谷自治会会長)
 荒木 宏子 (丸山台小学校文化・スポーツクラブ会長)
 鶴田 櫻 (放課後キッズクラブ主任)
 藤 至光 (丸山台中学校校長)
 梅本 香 (丸山台保育園園長)
 新井 篤志 (丸山台小学校 校長)
 野村 光 (丸山台小学校 副校長)
 田島 紀世 (丸山台小学校 教務主任)
 松野 鎮 (丸山台小学校 総務部副部長)
 森 洋介 (丸山台小学校 研究部部長)
 喜多村美弥子 (丸山台小学校 研究部副部長)
 広瀬 美香 (丸山台小学校 指導部部長)
 諸岡 文昭 (丸山台小学校 児童支援専任教諭)



○ 内容

司会：副校長 記録：田島

1 学校長挨拶

2 学校から 説明

- ・令和2年度学校経営の方針
- ・特色ある教育について(四期制、「食」の学び、異学年交流・連携)
- ・学校教育ボランティアの活動について
- ・弁済システム

3 意見交換

- ・学校の目標、あるべき姿がよく分かった。
- ・小学校での活動を大事にしながら、中学校でさらに伸ばしていきたい。
- ・各教科の教育方針は具体的で分かりやすいが、どのような場面で実際に何をするのが具体的に分かると、全体像が見えてくる。
- ・コロナ禍で行事がなかなかできない。早く収まってほしい。
- ・3年計画の1年目を受けてどう展開していくかという年だったと思うが、コロナ禍でなかなか難しい年になってしまった。
- ・自粛生活でさらに体力が落ちているようだ。学校再開して、最初は通学も体が辛そうだった。
- ・経験が少なくなってしまった。できなくなった行事の代わりに何ができるか考えていきたい。

～創立40周年記念「バルーンリリース」の返事が来ました～

運動会閉会式の後、一人ずつ飛ばしたバルーンリリースですが、当日は北風に乗り、南の方角に消えていきました。その後、風船を拾った方から電話やはがきで、学校へ連絡をいただきました。みなさん千葉県の方でした。10月26日現在、ご連絡のあった方々を紹介します。

連絡があった日	拾った日	場 所	名 前	備 考
10/20(火)	10/18(日)	千葉県香取市佐原	Tさん(男性)	5歳の孫が拾ってきた。自宅は成田空港や利根川が近くにある
10/20(火)	10/20(火)	千葉県香取市八本	Sさん(男性)	庭に落ちてきたところを拾った
10/20(火)	10/18(日)	千葉県富里市	Sさん(男性)	ハガキで連絡。スイカ畑が広がる
10/21(水)	10/20(火)	千葉県富里市	Tさん(女性)	農家を経営。畑で祖母が拾った。
10/22(木)	10/22(木)	千葉市若葉区下泉町	女性	